

韓国 光州市立交響楽団

【創立40周年記念】日本公演

指揮：金 洪才
ピアノ：ムン・ジヨン
光州市立交響楽団

チェ・ソンファン：アリラン幻想曲
Choi Seonghwan: Arirang Fantasy
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18
Rachmaninoff: Piano Concerto No.2 in C minor Op.18
チャイコフスキー：交響曲 第4番 ヘ短調 作品36
Tchaikovsky: Symphony No.4 in F minor Op.36

Gwangju Symphony Orchestra

光 40th 州

Anniversary

*

Conductor, KIM Hong-Je
Piano, MUN Ji-Yeong
Gwangju Symphony Orchestra

2016.6.30(木)

開演 7:00pm (開場 6:00pm)

東京芸術劇場 コンサートホール

Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

料金(全席指定・税込)：S¥5,000・A¥3,000

主催：韓国光州広域市、光州市立交響楽団

後援：駐日韓国大使館 韓国文化院

制作協力：公益社団法人 日本オーケストラ連盟

◎未就学児のご入場はお断りしています。◎チケットお申し込み後の変更・キャンセルは
お受けできません。◎出演者・曲目等の変更場合があります。あらかじめご了承ください。
◎営利を目的としたチケットの転売は、固くお断りします。

●チケット取扱

日本オーケストラ連盟 03-5610-7275 *平日10:00～18:00

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード292-399) <http://t.pia.jp/>

e+(イープラス) <http://eplus.jp>

ローソンチケット 0570-000-407 (Lコード32044) *10:00～20:00 <http://l-tike.com/>

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 *10:00～19:00 (休館日を除く)

<http://www.geigeki.jp/>

◎お問合せ：日本オーケストラ連盟 03-5610-7275 <http://www.orchestra.or.jp>

Gwangju Symphony Orchestra 40th Anniversary

韓国「民主化の聖地」光州市から光州市立交響楽団が、ルービンシュタイン国際、ジュネーブ国際、高松国際、ブゾーニ国際各コンクールで1位の大注目若手ピアニスト、ムン・ジヨンと指揮者・金 洪才と共に来日。



光州市立交響楽団

1976年に設立され、今年40周年を迎える光州市立交響楽団は市民主導で設立された歴史を持つ。

光州地域の音楽家たちが1969年「光州市民交響楽団」という民営のオーケストラを自発的に結成し音楽活動を開始した。光州に音楽芸術を定着させるという指揮者ジャン・シンドク氏と団員達の信念が実を結び、7年後の1976年7月光州市民交響楽団は光州市立交響楽団としてあらたなスタートを切った。

この40年間、290回の定期演奏会をはじめ500回を超える多様な演奏会を通して、幅広いレパートリーと確かな演奏力で聴衆を魅了し続けてきた。公演はコンサートホールのみならず、刑務所、軍隊、学校など常に市民と隣り合う形の演奏を続けてきた。

2010年5月、5・18光州民主化運動30周年では市民合唱団と共にマーラーの交響曲第2番「復活」を演奏し音楽界のみならず市民社会から高い評価を得た。

同年10月には文化庁芸術祭主催のアジアオーケストラウィーク2010に出演のため初来日しマーラーの交響曲第1番を熱演した。

ムン・ジヨン (ピアノ)

1995年韓国・全羅南道麗水市に生まれる。5歳からピアノを始め、ソウルの芸術中学校に入学し頭角をあらわす。その後韓国芸術英才教育院を終了し現在韓国芸術総合学校に在籍中。ピアノをキム・デジン教授に師事。数々の国際コンクールで優勝。

2009年 ポーランド、アルトゥール・ルービンシュタイン国際コンクール第1位

2012年 ドイツ、エトゥルリン青少年国際ピアノコンクール第1位

2012年 大韓民国人材賞受賞

2014年 高松国際ピアノコンクール第1位

2014年 ジュネーブ国際コンクールピアノ部門第1位、聴衆賞及び特別賞

2015年 ブゾーニ国際ピアノコンクール第1位

金 洪才 (キム・ホンジェ、指揮)

1954年生まれ。桐朋学園大学音楽学部卒業。指揮を堤俊作、秋山和慶、小澤征爾の各氏に師事。1978年、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団特別演奏会でデビュー。1979年、東京国際指揮コンクールで第2位と、初めての特別賞(斎藤秀雄賞)を受賞。1980年、テレビ番組「オーケストラがやってきた」の専属指揮者に、また81年、NTV系「私の音楽会」の専属指揮者に選ばれる。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、名古屋フィルハー

モニー交響楽団、京都市交響楽団の指揮者を歴任の傍ら、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団をはじめ全国の主要オーケストラに客演。内外の著名ソリストとも数多く共演し、優れた音楽性と鮮やかなバトンテクニックで常に好評を博してきた。

1989年よりベルリンにおいて作曲家、尹伊桑(ユン・イサン)氏の下で研鑽を積む。1992年、9月には、ニューヨーク・コリアン交響楽団を指揮し、カーネギーホールでアメリカデビューを果たし大成功を取めた。また1998年、長野で開催されたパラリンピック開幕式典演奏の指揮をつとめた。

2000年10月、ソウルで開かれたアジア欧州会議(ASEM)の祝賀公演に招かれて韓国KBS交響楽団を指揮。引き続き2001年4月、同団定期演奏会に出演、2003年8月にも客演し常に絶賛を博している。2002年7月には韓国交響楽団定期演奏会に出演。オペラでは2001年10月に韓国《芸術の殿堂・オペラハウス》でヴェルディ「仮面舞踏会」を5夜連続公演し大成功を取めた。2003年9月にはひろしまオペラ推進委員会主催による日韓提携公演プッチーニ「蝶々夫人」を指揮、この分野でも着実にキャリアを重ねている。

1998年、渡邊暁雄音楽賞受賞。2007年より韓国・蔚山(ウルサン)市立交響楽団芸術監督。